

県立学校「基本方針」進捗状況

教職員の負担軽減のための条件整備

○教育条件整備を国に要望

| 項目 | 主な取組 | | | |
|------------------------------|---|-----------------------|--|--|
| 教職員定数の改善 | 教員定数の改善については、あらゆる機会を捉えて、国に働き掛けます。 (県立学校人事課) | 令和2年12月末日までの取組内容 | ・「国への要望」による定数改善要望 ・定数報告による現状報告 ・文部科学省に対して次年度の定数要求 | |
| | | 令和3年3月末日までの取組予定内容 | ・次年度に向けた適切な教員配当数の決定 | |
| | | 進捗状況自己評価(順調、やや遅れ、要努力) | 順調 | 【状況・分析】 ・小中学校人事課とも連携し、「国への要望」および定数報告による改善要望を提出 |
| | | 令和3年4月以降の取組予定内容 | 【令和3年度】 ・あらゆる機会を捉えた定数改善要求 | |
| スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの配置 | スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの配置に対する支援の充実を図るよう、国に働き掛けます。 (生徒指導課) | 令和2年12月末日までの取組内容 | 財政支援の拡充を図るよう、国に働き掛けを行った。 | |
| | | 令和3年3月末日までの取組予定内容 | 国の事業内容、予算関係の情報収集と、次年度の効果的な配置を検討する。 | |
| | | 進捗状況自己評価(順調、やや遅れ、要努力) | 順調 | 【状況・分析】次年度の配置について、検討を進めている。 |
| | | 令和3年4月以降の取組予定内容 | 【令和3年度】 引き続き国に働き掛けるほか、効果的な運用、配置ができるよう工夫に努める。 | |
| ICT支援員等の配置 | ICTを推進するに当たっては、ICT支援員等の職員を配置できるよう国に要望します。 (高校教育指導課) | 令和2年12月末日までの取組内容 | ・令和3年度予算要求において、ICT支援員の予算要求を行った。 | |
| | | 令和3年3月末日までの取組予定内容 | ・予算が認められることを見据え、業務内容を整理し、来年度からの滞りない活用ができるよう計画する。 | |
| | | 進捗状況自己評価(順調、やや遅れ、要努力) | 順調 | 【状況・分析】予算要求を行い、予算成立に向け取り組んでいるため |
| | | 令和3年4月以降の取組予定内容 | 【令和3年度】ICT関係の国の動きと学校での活用状況を注視しつつ、国への働き掛けの検討を行う。 | |
| 障害者が働きやすい職場づくり | 障害者が働きやすい職場をつくるため、人的支援や施設改修等に係る財政措置等について、国に働き掛けます。 (総務課) | 令和2年12月末日までの取組内容 | 令和2年6月に国への要望を行った。 | |
| | | 令和3年3月末日までの取組予定内容 | 令和3年度に行う要望内容の精査を行う。 | |
| | | 進捗状況自己評価(順調、やや遅れ、要努力) | 順調 | 【状況・分析】昨年度の要望結果を踏まえ、国へ要望を行った。 |
| | | 令和3年4月以降の取組予定内容 | 【令和3年度】令和2年度要望の結果等を踏まえ要望内容を精査し、要望を行う。 | |
| 特別支援学校の設置基準 | 特別支援学校の設置基準を含む施設・設備の在り方について、国との情報交換に努めます。 (特別支援教育課) | 令和2年12月末日までの取組内容 | ・文部科学省特別支援教育課による県立特別支援学校視察の受入れ及び情報交換 | |
| | | 令和3年3月末日までの取組予定内容 | ・設置基準の検討状況の把握など、引き続き文部科学省との情報交換に努める | |
| | | 進捗状況自己評価(順調、やや遅れ、要努力) | やや遅れ | 【状況・分析】国において特別支援学校の設置基準策定に向けた動きがあり、この動向を見ながら対応していく必要がある。 |
| | | 令和3年4月以降の取組予定内容 | 【令和3年度】 国の定める設置基準について引き続き情報収集に努めるとともに、それらを次期教育環境整備計画に反映できるよう検討を進める。 | |

県立学校「基本方針」進捗状況

○県として行う教育条件整備

| 項目 | 主な取組 | | | |
|--------------------|---|-----------------------|--|--|
| 少人数学級編制の推進 | 生徒の実態を考慮し、特に必要がある場合には少人数学級編制を推進できるよう努めます。(県立学校人事課) | 令和2年12月末日までの取組内容 | ・少人数学級編制実施校の募集 ・少人数学級編制実施校の認定 | |
| | | 令和3年3月末日までの取組予定内容 | ・予算の範囲内で次年度の非常勤講師措置時数について調整 | |
| | | 進捗状況自己評価(順調、やや遅れ、要努力) | 順調 | 【状況・分析】 ・実施校の成果・課題の検証を踏まえ、少人数学級編制の適正な運用に努める。 |
| | | 令和3年4月以降の取組予定内容 | 【令和3年度】 ・少人数学級編制についての実施校の成果・課題の検証 ・非常勤講師予算確保に向けて努力 | |
| 特別支援学校の教育環境整備の推進 | 引き続き、計画的に特別支援学校の教育環境整備を進めます。また、既存の学校の過密を解消するため、新設校や高校内分校の設置のほか、校舎の増設や厨房の改修など既存校への対応も含め更に検討を進めます。(特別支援教育課) | 令和2年12月末日までの取組内容 | ・戸田かけはし高等特別支援学校などの整備を進めるほか、高校内分校3校などの整備に着手 | |
| | | 令和3年3月末日までの取組予定内容 | ・引き続き、戸田かけはし高等特別支援学校などの整備を進めるとともに更なる対策を検討 | |
| | | 進捗状況自己評価(順調、やや遅れ、要努力) | 順調 | 【状況・分析】計画どおり戸田かけはし高等特別支援学校ほか1校を開校する見込みである。引き続き、過密解消に向けて、取り組む必要がある。 |
| | | 令和3年4月以降の取組予定内容 | 【令和3年度】引き続き、県東部地域特別支援学校(仮称)ほかの整備を進めるとともに、更なる対策を検討し、検討を終えたものから着手していく。 | |
| 「校務支援システム」の機能改善 | 新学習指導要領や高大接続改革に対応した「校務支援システム」の機能改善を行うとともに、「校務支援システム」を運用するに当たっての問合せに対応するサポートデスクを設置し、教職員の負担軽減を図ります。また、ICT支援員等の職員が配置できるように県としても努力します。(高校教育指導課) | 令和2年12月末日までの取組内容 | ・校務支援システムの機能改善を行い、新調査書の様式に対応した進学用調査書の作成ができるようにした。 | |
| | | 令和3年3月末日までの取組予定内容 | ・特殊なカリキュラムの学校には、順次機能改善の改修を行った。 | |
| | | 進捗状況自己評価(順調、やや遅れ、要努力) | 順調 | 【状況・分析】必要な改修について適切に実施している。 |
| | | 令和3年4月以降の取組予定内容 | 【令和3年度】生徒指導要録の様式変更に伴う校務支援システムの改修について検討を行う。 | |
| 教材の共有化及びICT教育環境の充実 | 作成された教材の共有を図る情報交換サイトの全県的な利用に向けた研究を進め、教員の授業準備を支援します。また、デジタル教材等を日常的に活用できるよう普通教室へのプロジェクターの整備等、ICT教育環境の充実を図ります。(高校教育指導課) | 令和2年12月末日までの取組内容 | ・今年度整備するタブレット端末、プロジェクター等の調達事務を進めている。 ・情報交換サイトの改修が終わり5月から運用を行っている。 | |
| | | 令和3年3月末日までの取組予定内容 | 今年度整備するタブレット端末、プロジェクター等の整備が完了し、導入校向けの研修を随時実施予定である。 | |
| | | 進捗状況自己評価(順調、やや遅れ、要努力) | 順調 | 【状況・分析】年度内に全県立高校に整備が完了予定 |
| | | 令和3年4月以降の取組予定内容 | 【令和3年度】全ての県立高校で、デジタル教材を日常的に活用できるよう、研修等で教員のICTスキルの向上を図る。 | |

県立学校『基本方針』進捗状況

○専門職員の配置及び障害者雇用の推進

| 項目 | 主な取組 | | | |
|------------------------------------|--|-----------------------|---|---|
| スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの配置と運用の工夫 | 多様な児童生徒や保護者の悩みへの対応のために、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの配置と運用の工夫に努めます。 (生徒指導課) | 令和2年12月末日までの取組内容 | 活用状況の把握と分析、次年度の効果的な配置と運用を検討。 | |
| | | 令和3年3月末日までの取組予定内容 | 活用状況の把握と分析を継続し、次年度の配置と運用について決定。 | |
| | | 進捗状況自己評価(順調、やや遅れ、要努力) | 順調 | 【状況・分析】活用状況から、次年度の効果的な配置と運用の検討を進めている。 |
| | | 令和3年4月以降の取組予定内容 | 【令和3年度】 ・引き続き活用状況を把握し、効果的な配置や運用に努める。 | |
| 弁護士等の専門家による個別相談の実施 | 家庭との対応や子供を取り巻く問題に関して、弁護士等の専門家による個別相談を実施し、教職員を支援します。 (県立学校人事課) | 令和2年12月末日までの取組内容 | 個別相談及び校長、副校長・教頭、生徒指導担当者対象研修会を実施。 | |
| | | 令和3年3月末日までの取組予定内容 | 随時個別相談を実施予定。 | |
| | | 進捗状況自己評価(順調、やや遅れ、要努力) | 順調 | 【状況・分析】順調。12月までに計15件の個別相談を実施。制度が浸透するにつれて個別相談の件数が増加してきた。 |
| | | 令和3年4月以降の取組予定内容 | 【令和3年度】個別相談及び研修会を実施し、問題の早期解決を図る。 | |

県立学校「基本方針」進捗状況

| | | | | | |
|-------------|--|-----------------------|--|---|--|
| 部活動指導員の配置拡充 | 高等学校の部活動指導員について、モデル事業の状況を踏まえ、配置拡充に向け、努力します。 (保健体育課) | 令和2年12月末日までの取組内容 | ・配置基準について、校務分掌等において、特に業務の多い教員に対して部活動指導員を充てたことによる、負担軽減効果を検証している。新型コロナウイルスの影響で、予定どおりの活動ができていない状況である。 | | |
| | | 令和3年3月末日までの取組予定内容 | ・配置基準を見直したことによる負担軽減効果の検証 ・令和3年度部活動指導員の募集・選考 | | |
| | | 進捗状況自己評価(順調、やや遅れ、要努力) | やや遅れ | 【状況・分析】新型コロナウイルス感染症の影響から、部活動は通常登校再開後に段階的に進めたり、緊急事態宣言が発出されたことにより、令和3年3月7日まで原則中止とする事態となっている。そのため、実技指導だけでなく感染防止対策を含めた様々な対応について、学校と連携をとり、教職員の負担軽減を図っていく。部活動指導員の配置については、現状の配置校における効果検証を基に、配置拡大に向けて、根拠をしっかりと示した上で継続的に働き掛けている。 | |
| | | 令和3年4月以降の取組予定内容 | 【令和3年度】 ・配置校の検証及び分析 ・令和4年度配置希望照会 ・状況確認、フォローアップ ・令和4年度本格実施に向けた検討 | | |
| 部活動指導員の配置拡充 | (高校教育指導課) | 令和2年12月末日までの取組内容 | ・配置基準について、校務分掌等において、特に業務の多い教員に対して部活動指導員を充てたことによる、負担軽減効果を検証している。新型コロナウイルスの影響で、予定通りの活動ができていない状況である。 | | |
| | | 令和3年3月末日までの取組予定内容 | ・配置基準を見直したことによる負担軽減効果の検証 ・令和3年度部活動指導員の募集・選考 | | |
| | | 進捗状況自己評価(順調、やや遅れ、要努力) | やや遅れ | 【状況・分析】新型コロナウイルス感染症の影響から、部活動は通常登校再開後に段階的に進めたり、令和3年3月7日まで原則中止とする事態となっている。そのため、実技指導だけでなく感染防止対策を含めた様々な対応について、学校と連携をとり、教職員の負担軽減を図っていく。 | |
| | | 令和3年4月以降の取組予定内容 | 【令和3年度】 ・配置校の検証及び分析 ・令和4年度配置希望照会 ・状況確認、フォローアップ ・令和4年度本格実施に向けた検討 | | |

県立学校「基本方針」進捗状況

| | | | | |
|--------------------------|---|-------------------------------------|--|---|
| 部活動指導員の配置拡充 | また、特別支援学校への導入については、障害特性への配慮など様々な課題があることから、引き続き研究します。 (特別支援教育課) | 令和2年12月末日までの取組内容 | 特別支援学校校長会と連携して、各学校における部活動実施状況についての情報収集 | |
| | | 令和3年3月末日までの取組予定内容 | 部活動における障害特性への配慮や、指導員の必要性について、校長会と連携しながら、聞き取り調査を実施する。 | |
| | | 進捗状況自己評価(順調、やや遅れ、要努力) | やや遅れ | 【状況・分析】新型コロナウイルス感染症により例年と部活動の実施状況が異なるため、情報収集等に遅れ。 |
| | | 令和3年4月以降の取組予定内容 | 【令和3年度】引き続き、特別支援学校校長会と連携し、部活動指導員の活用について研究していく。 | |
| 障害者本人を支援する支援員の配置や施設設備の推進 | 障害者が働きやすい職場をつくるため、障害者本人を支援する支援員の配置など必要な予算の確保に努めます。 (総務課、県立学校人事課) | 令和2年12月末日までの取組内容 | 県立学校に支援員17名を配置した。 | |
| | | 令和3年3月末日までの取組予定内容 | 支援員の配置など必要な予算の確保に努める。 | |
| | | 進捗状況自己評価(順調、やや遅れ、要努力) | 順調 | 【状況・分析】県立学校に支援員を配置した。適切な支援員の配置に努めている。 |
| | | 令和3年4月以降の取組予定内容 | 【令和3年度】引き続き支援員を配置するとともに、必要な予算の確保に努める。 | |
| | 県立学校におけるバリアフリー化については、大規模改修工事などに合わせて、多目的トイレ、入口スロープや階段手すりの設置、出入口口幅などの改修を計画的に進めています。今後も引き続きバリアフリーに対応した施設整備を進めていきます。 (財務課) | 令和2年12月末日までの取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度当初予算要求 ・令和2年度工事実施に向けた調整 ・工事執行課への執行委任 | |
| | | 令和3年3月末日までの取組予定内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者用トイレの整備(2校) ・令和3年度の整備に向けた予算要求 | |
| | | 進捗状況自己評価(順調、やや遅れ、要努力) | やや遅れ | 【状況・分析】夏休み工事の取りやめにより、若干遅れが生じている。 |
| | 令和3年4月以降の取組予定内容 | 【令和3年度】身体障害者用トイレの整備、入口スロープの整備(校数未定) | | |